

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成30年7月3日(火)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時26分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 吉田 二郎 委員 佐野 善弘 委員 櫻井 功紀 委員 千葉 一男 議長 大橋 昭太郎
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋秀彰
協 議 事 項	・定住化促進について (行政視察の件)
そ の 他	
閉 会	午前10時15分

2号様式 協議の経過

鈴木宏通委員長	それでは、第10回総務、産業、建設常任委員会の会議をこれから始めたいと思います。 本日は第10回目の定住化促進につきましての皆さんの御意見を賜りたいと考えております。本日は主にこれから2週間後ですかね、その辺に差し迫ったところであります常任委員会の研修につきましての事務局からのいろいろな報告、そして前回も皆さんに資料をお配りしましたが、本日もまた多少資料をお配りしたその説明と皆様にいろいろな本町の取り組みの中身も含めまして御理解を賜りたく資料を配付した次第でございます。本日の会議、どうぞよろしくお願い申し上げます。 それでは、委員全員出席でございますので、会議は成立しております。本日もまず始めに会議事項としまして定住化促進、まず事務局より資料等の説明をお願いしたいと思いますので。
高橋秀彰主事	では、着座にて説明させていただきます。まず行程表をお手元に御準備いただきたいと思います。 事前にお渡ししていたものと若干の変更はございましたが、大きな変わりはありません。初日に関しては以前と同じで、10時半から11時半、ふるさと回帰支援センターの見学となっております。宿泊先は三方の駅まで迎えに来ていただけることとなっております。2日目は、昼食のところ魚三というふうにいれさせてもらっておりました。ここが、若狭町役場さんの強い勧めでぜひ町内のうなぎをというところで一応そのうなぎを食べる想定でいるんですが、行程表の欄外にかかせてもらっているのがメニューになるんですが、結構いい値段がするということで、うなぎの竹あたりを注文しようかなと思っているところでございますが。もし、うなぎがだめな方がいなければそのようにしたいと思います。
吉田眞悦委員	あの、ごめんね。はい、別なの。てんぷら定食とかで。すいませんね。
高橋秀彰主事	ちょっと別の、近場のところを探してみますので。あと、当たり障りのないものを正副委員長と相談させてもらったうえで、お店確保させていただきますのでよろしくお願いします。
吉田眞悦委員	ん、ここ決まりでないの。(「いいんですか」の声あり) うなぎじゃなくて、この中で何かあるでしょ、別なの。
高橋秀彰主事	ちょっとそこを確認しておきます。
吉田眞悦委員	皆さんはうなぎでいいんだよ。勝手な希望を申し上げて、申し訳ございません。
高橋秀彰主事	ほかのメニューの確認しておきます。 その日ですね、ちょっと電車が心配されるところでもございますが、5時33分に白川口駅に着きましたら、ここも宿泊先の旅館のほうまで駅まで迎えに来てくれることを確認しておりますので、迎えに来ていただいて宿泊先に向かう形をとらせていただきます。 7月の20日の日ですが、まず行程表上若干変更になっております。

	名古屋駅を出発する時間なのですが、いつも頼んでいる旅行業者で従前に予定していた時間ですとどうしても団体割の切符がとれなかったというところで、団体割の切符がとれるこちらののぞみ 370 号のほうにですね、東京駅の着時間 17 時 3 分で余裕がある点は変わりありませんのでこちらの行程でいかせてもらおうかと思います。あと 3 日目ですね、白川町役場さんに連絡したところ宿泊先を町内にしたところにかなり気をよくしてもらったようでありまして、当日車を出させてもらいます、道の駅までも乗せますしと、そのほか町内も案内させてもらいますというふうな御厚意をいただきましたので、お昼も道の駅で施設見学とかをしながらその場で食べるような形を想定しております。その後も駅までの送りもしてくれるということでしたので、こちらのほうは白川町役場さんの厚意に甘えさせていただきたいと思います。当日の朝なのですが、当初タクシーを想定していたんですが、こちらも宿泊先から送るという形で役場から話を通してもらうことになりましたので、3 日目の朝も送っていただいて白川町役場さんへいく形をとらせてもらいます。 行程上主な変更点は以上になりますので、一応これが確定版に近い最終版になります。まだ 2 週間あるところもありまして、もしかしたら若干変更が出る場合もありますが、その際はあらためてアナウンスさせていただきますと思います。以上になります。
鈴木宏通委員長	はい。まず最初に今度の視察に関しての部分で今事務局より説明をいただきました。この点につきまして何か、もし先ほどのような御要望等あれば、今のうちに出していただければありがたいところもありますし。かなりハードな、タイトな日程でございますし、実際今台風 7 号がきて今後どのような状況になるか、先日の豪雨でも滋賀県また岐阜県等のそして高山線も今土砂崩れ等もあって大変な状態になっておりますが、今後そういう災害等がなきようお願いしたいと思っております。これにつきまして、よろしいですか。（「はい」の声あり） では、次にまいりたいと思います。研修事項のテーマの確認をまず。
高橋秀彰主事	では続いて研修事項の確認をさせていただきますが、こちら右上に若狭と書かせてもらっているものが若狭町に既に出している研修事項で、白川と書いているものが白川町に既に出している研修事項になります。前回の常任委員会で出た視察研修事項を若干整理したうえで項目をまとめて出させてもらっております。若狭町に関してはおおむねそのとおり出させてもらったんですが、白川町のほうは若干視察項目が細かいところもありましたので、例えばですが移住・交流サポートセンターのところに空き家相談士とかをぶら下げてしまうとそれだけ説明を受けるような形になりかねないという懸念がありましたので、大きいところを出させてもらって、細かいところに関しては当日その場で質問するような形を想定しておりますが、もしこれで先方からわからないとか大きすぎるといふに言われた場合には、前回委員会で出た内容を補足させてもらったうえで、そういうところを中心をお願いするという話をし

	ていきたいと思います。今出している視察事項に関してはこのとおりとなっておりますので御承知いただきたいと思います。以上でございます。
鈴木宏通委員長	皆さん、今事務局より説明いただきました今回の視察研修につきましての質問事項が各若狭町、白川町に出しておりますが、この点について確認ということでよろしいですか。あとはそのときの説明を受けてそれぞれ細かい部分、今事務局からありましたとおり質問をさせていただきたいなと思っております。よろしいですか。（「はい」の声あり） では次に進んでまいりたいと思います。今回のまず皆様に資料としてお配りしました町のほうの部分、成果の部分と予算につきましてあります。あと、先日皆さんに郵送により送っていただきましたふるさと回帰センターにつきましての程度詳しい部分の資料をお配りしたということで、この資料につきましてまた説明をお願いしたいと思います。
高橋秀彰主事	はい。では次に6月29日に郵送で配付いたしました配付資料の確認をかねまして説明させていただきます。まず、上のほう、配付資料一覧を基になりますが、ふるさと回帰支援センターのところフロアマップと書かせてもらっている一枚紙がありますが、当日見学に行くふるさと回帰支援センターの各県どの場所に配置されているかというところの資料になりますので、宮城県ですと新潟県の隣ですかね、静岡市の向かいというところで、こちらのところにおそらく2人の常駐職員がいるものかと思われますので、当日向かう先の確認で配付いたしました。 2点目が2017年の移住相談の傾向、ならびに移住希望地域ランキング公開というもので、これは以前にN T Tデータの移住に関するアンケートの資料を配付させていただきましたが、それと同じような性質のものかなと思っております。最後のページですかね、移住先選択の条件とかあるいは希望する就労形態とかいうものが一応移住を希望する人の意識づけがどのようになっているかというところで参考になるものかと思っていますので、今回の視察研修の資料というよりはむしろ定住化促進全体にまたがるような資料という意味合いで配付させていただきました。 3つ目の中期ビジョン：目標と実行計画ですが、ふるさと回帰支援センターの事業概要が端的にまとまっているような資料が見つけれませんでしたので、ページ数は多いんですが、中期ビジョンという形でふるさと回帰支援センターが今までどのようなことをやってきたのか、そしてこれからどのようなことをやっていこうとしているのかというところで、ちょっと長いですがこういうものを基にふるさと回帰支援センターの取り組みを把握していただきたいと思います。 4点目以降は、これも今回の視察研修と直接関係がないものなんですけど、以前にお渡ししました推計人口の最新版が出ていましたので、こちらでも確認いただきたいと思います。 5点目は、美里町の男女5歳階級別人口というのですが、2045年

	には総人口が 15,168 人になりますよというところで、やはり人口的には減少の傾向が推計されるという現実というか、というものをあらためて認識いただきたいと思います。 最後の 6 点目は、参考なのですが、仮に社会増減をゼロとした場合に人口推計がどうなるのかというもので、一覧の下から 3 番目が美里町になっているんですが、若干自然増減だけですと減少が緩やかになるような資料になっているのかなと思います。今後社会増減をいかに緩やかにしていくかというのが町の定住促進事業の課題になってくるのかなというところで、あらためてこのあたりも確認いただきたいと思いますので配付いたしました。 配付資料の 6 月 29 日分に関しては以上となります。
鈴木宏通委員長	ありがとうございました。今回も皆様に資料としてお配りしました帰帰センターに関わります分の資料、そして移住相談の傾向というところが一番地方の移住に関する相談に……いろいろなアンケートの結果に基づく部分ですけど、これを見ますと 2011 年以前は 2 ページ目を見ていただけるとおり 2009 年、10 年は宮城県もかなり移住者希望地ランキングとしては上位にランクされる県だったんですが、2011 年以降、その部分が 20 位以下になりまして、その後に西日本地域に主な移住先を求めるような部分ということで公開された部分の情報として載っております。また、この就労の部分に関しても希望するランクとしてはトップに就職先、勤め先があるかないかというのが大きく左右する部分だということと、選択の条件に優先順位で複数回答でしょうけど、やはり就労の部分に自然環境、そして住居があることというのがありますし。やはり定住化促進に向けて空き家対策、空き家なども活用できるということにやはりあるのかなと。ただ、4 番目は交通の便が良いことということに関してはこれからいろいろな考えがあるかと思いますが、そういう部分で優先順位として希望する部分であるかと。就労形態なども 4 番目にありますやはり地域おこし協力隊という部分は就労機会の部分で大きな役割を担っているのかなということもやはり傾向で、仕事としての役割もあるのかなということもデータでいろいろわかるかなというところでございます。 あと、この……中期ビジョンの目標と実行に関わっています、本当にこの文章の内容の部分というのは時代とともにここ何期かに分かれて書いてはありますけどその 10 年でいろいろな若年層または定年後のシニアの方が……、やはり震災を機に、またはいろいろなそういう部分でさまざま変化しているのかなということもわかりうる資料かなと思っております。 あと、この最後に皆さんにこの中で人口の部分の将来人口、また新しいデータとして今出していただきました。町のデータとして 2045 年までですか、2015 年を起点として 30 年後の設計をある程度自然増、社会増の関わりを含めまして出しています。今、事務局が申したとおり、自

	然増よりは社会増の減のほうがかなり大きく変化するのかなと。この人口減少または転出をいかに抑えるか、そういうところが課題なのかなということがわかり取れる資料かなと考えます。 皆さん、ここの部分で今資料を出しましたけども、何か御質問等ありましたら、わかりうところで。あとはここの部分もこれから課題、私たちもこれをもっているいろいろ勉強会も含めて考えてまいりたいと思っております。 あと最後のやつは、こいつは私のほうで、はい。最後にきょう渡しました資料に関しましては、これは施策の成果等にある定住化促進または住宅取得支援事業に関わる資料でございます。平成 27 年度から定住化促進による町の施策として、年間約 3,700 万円の部分で予算をとって、年間 180 件、185 件の住宅取得そして空き家対策のほうの事業等行いまして、29 年度はまだ出ておりませんが 28 年度に関しても同様の金額の推移で移っております。定住化促進の部分の条例をつくりましてから、基礎額 30 万円等の部分、そして空き家の再生補助金に関しても改修費用の総額の 2 分の 1 の限度額 100 万円ということ。そして、あとは空き家バンク等の登録等もいろいろありますけども前に行いましたまちづくり推進課との話し合いではなかなかホームページ等の掲載までには至ってはいない結果でございましたけども、一応町の行っております施策につきましても、皆様に資料として再提供……、まあ皆さんもっている資料ですけども、再確認のうえで皆さんにお示したところでございます。これにつきましても今後行われる視察研修の場で皆様に御理解をしていただきながら、研修に進めてまいりたいと思いますので御理解のほどよろしくお願い申し上げます。 本日の協議に関わる部分につきましては、先ほどお示しました研修事項の内容につきましてですけど、私たちの町で行われていない部分の研修につきまして主に事業内容等の説明をいただくものでございますが、まずもって住宅取得または次世代のそういう協議会等の両方の町で行われている施策につきまして、以前にお配りしました資料等ございますので、まずその中で取り組まれている事業等につきましてはその町の部分で多少お目通しをいただきながら、研修まであと 2 週間ありますけども、その旨を皆様に御理解いただきながら研修に行ってみようと思いますのでよろしくお願い申し上げます。 今までのところよろしいですか。
千葉一男委員	もしかしたら説明を受けているかもしれませんが。東京を第 1 日目の中で 1 時間とっていますよね。支援センター。このときに寄るときには一応視察先の福井と岐阜が入っていると思うんです。そこにも顔を出すんですか。
鈴木宏通委員長	そうではなくて、今の計画は宮城県のブースを主に。そして、美里町出身の方がおられるということもありますので、前回まちづくりの課長

	さんに行かれたときにぜひ参考までに見学をさせてくださいという部分のお願いをした経緯もありますので、宮城県だけという考えでございます。今のところは。
千葉一男委員	そこまではわかる。だけど、わざわざ行くのに、これから行くところに挨拶をね。例えば、したほうがなんとなくいいんじゃないかなと、私の感覚ですから。全体でそろそろ行く必要があるかどうかはまた別としてもね。
高橋秀彰主事	宮城県のように特別事前連絡とかなしに直接その場で行って話をさせてもらう分には、空いてるようでしたらそれはそれでいいとも思いますので、あらためて当日行かせてもらいますという事前連絡とかではなくてですね、当日様子を見て福井県なりあるいは岐阜県のブースをのぞいてみるのもいいのではないかと個人的には考えていますが。もしほかの委員さんが良いようでしたらそのように。
千葉一男委員	いずれにしても全員で行くかどうかは別として、わざわざこれから邪魔するんだという途中ですから、少なくとも委員長が挨拶をするとそれくらいのことがあったほうがよろしいんじゃないかなという考えでお話ししました。
鈴木宏通委員長	そういうふうな検討をするように対処したいと思います。あと事務局と相談しながら、時間の推移を見ながら、そのときに動きたいと思います。ありがとうございます。 そのほかございますか。では、休憩をさせていただいて、これからある程度ざくばらんに皆さんの御意見をいただきたいと思います。休憩いたします。
	休憩 午前 9時51分 再開 午前10時13分
鈴木宏通委員長	では、再開をいたしましてもう1回確認をさせていただきます。 一応年度の説明を皆さんにさせていただきました。27年、28年、予算、決算。29年度の予算、決算はまだなので予算。あと30年度の予算書に係る部分の資料を皆様にお配りをいたしました。 そして本日皆さんに資料を提供してきましたので、視察までに可能なところで見ていただければありがたいなと思っております。 当日は上着を持参していただきまして、ノーネクタイということを確認させていただきたいと思います。 皆さんに視察研修後の報告書を7月30日までに事務局に送付をそれぞれ.....出していただきたいと思います。 そのほかに関しましても以上ということで本日の会議を以上とさせていただきますが、よろしいですか。(「はい」の声あり)では副委員長お願いいたします。
山岸三男副委員長	大変御苦労さまでした。大変暑い中ものすごい天気続いているんで、またさらには、台風はここにはいなくなるかなとは思いますが、新たな台風が発生したりするとまた大変なので、そのときは発生し

	ないで……、皆さん祈っていただきたいなど。きちっと研修先で勉強してきて本町の施策あるいは町の発展につながるよう勉強してきたいと思いますので、委員長が言ったように資料、私もよく読みたいと思いますし、しっかり皆さんも勉強していただきたいと思います。大変皆さんきょうは御苦労さまでした。
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 3 0 年 7 月 3 日

総務、産業、建設常任委員会

委員長